

話題の講義ライブ  
LIVE 2014

Today's Program 政治学

# CHUO UNIVERSITY 中央大学



法学部 政治学科

5.19.Mon. at Tama  
15:00~16:30  
宮本 太郎 教授



本日の宮本先生の「政治学」の講義は、そんな政治にどうかかりを持って

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

「政治の在り方を身近に感じられる要素として社会保障・福祉がありま

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

## 政治離れが物語る日本の政治の弱点

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

## 政治がおもしろくない？ それは、日本の問題だ！

## 世界の政治から見える日本の政治の実像

「福祉国家」として広く知られるスウェーデンに目を移すと、20代の投票率は約70%を超える。それはスウェーデンの社会保障・福祉の政策自体が、若者にとっても、自分たちの日々の暮らしを変え、さらには将来の展望を左右するものだからだ。

「少子高齢化社会の日本において、これからの高齢者を支えるのは若い世代です。そして彼らは今、非常に厳しい雇用環境の中で生きています。しかしながら日本ではまだ若い世代を支えるための制度転換が進行していない。このままの社会保障体制では若い人が倒れ、同時に高齢者も倒れる構造になってしまします」と宮本先生は語る。つまり、若い世代が関心を抱くような社会保障・福祉が見出されなければ、これからの日本が危ういということである。実に日本の若い世代の政治への無関心は、日本の政治の弱点を如実に物語っている現象なのだ。

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

「政治」と聞いたとき、どんなイメージを思い起こすだろうか？ 多くの若者にとっては、「それほど関心がない」が答かもしれない。総務省が発表している国政選挙の年別投票率では、平成24年12月に行われた第46回衆議院議員総選挙では、20歳代の投票率が37%であった。まさに「ニユース」などでも時折目に耳にする「若い世代の政治離れ」を象徴する数字である。しばしば「若い世代はもつと政治に関心を持つべきだ」と言われるが、関心を持つきっかけはどこにあるのだろうか。

## 可能性の技術としての政治学のススメ

宮本先生は、法学部で法律や政治を学ぶことは「ホットハートとクールヘッド」を身につけることだとする。つまり、社会はどうあるべきかという熱い気持ちをハートに持ちながら、世の中の事態をクールに観察し本質を見極めるヘッド、つまり頭脳を持って行動に移していくということだ。

「今の社会に何かの疑問や、生きにくさ」を感じていて、それを打開したいのであれば、その実現のための「可能性の技術」として政治学を学んでほしいと思います」と宮本先生。私たちと政治は決して遠い存在ではない。むしろ不可分であり、心の中の漠然とした社会への疑問も、政治学に触れることで答えが見つかることもあるかもしれない。

## VOICES 学生の声 of University Students



小林 莉歩さん(左) 法学部 政治学科1年生  
私は将来、ジャーナリストになりたいと考えています。中央大学の法学部には、メディアとジャーナリズムに特化した「メディア政治コース」があったことから、進学を決めました。ゆくゆくは主に人種差別をメインテーマにして活動できるジャーナリストになっていければと考えています。宮本先生はとても優しい先生で、質問があつて研究室に訪ねて行けば、いつでも「いいよ」と言って答えてくれます。

矢島 里紗さん(右) 法学部 政治学科1年生  
私は政治を通して世界を見てみたいと政治学に入りました。政治にはその国のさまざまな文化や価値観が反映されています。例えば日本では「若者があまり政治に興味がない」と言われていますが、逆にどうして興味がないのかを私は政治を学びながら知ってみたいと思っています。宮本先生は社会保障などの難しい問題でも、分かりやすく丁寧に教えていただけるし、一人ひとりの課題に合わせてアドバイスをしてくださいます。

## 中央大学

- 法学部
- 経済学部
- 商学部
- 理工学部
- 文学部
- 総合政策学部

### 【沿革・歴史】

- 1885(明治18)年、東京府神田区神田錦町に英吉利法律学校として創設
- 1903年 社団法人東京法学院大学が設置認可され専門学校令により東京法学院大学と改称
- 1905年 校名を中央大学と改称し、経済学科を新設
- 1909年 新たに商業学科が設けられ、法学、経済学、商学の3学科を有する
- 1920年 大学令による中央大学の設立認可を受け、法学部・経済学部・商学部・大学院・大学予科を擁する旧制大学の体系が整えられる
- 1949年 学制改革にともない新制大学が発足、工業専門学校を廃して工学部を新設
- 1951年 文学部および新制大学院を設置
- 1978年 文系4学部(法・経済・商・文)が多摩校地へ移転。理工学部は後楽園キャンパスを増築。
- 1985年 創立100周年
- 1993年 総合政策学部を多摩キャンパスに新設
- 2000年 市ヶ谷キャンパスを開設
- 2002年 国際会計研究科(アカウティングスクール)を開校
- 2004年 法科大学院(ロースクール)を開校
- 2008年 後楽園キャンパスに戦略経営研究科(ビジネススクール)を開校

### 【オープンキャンパス情報】

- ◆多摩キャンパス(文系学部対象)  
2014年8月23日(土)、8月24日(日)  
Program:中大ガイダンス、学部別ガイダンス、個別相談、キャンパスツアーなど
- ◆後楽園キャンパス(理工学部対象)  
2014年8月9日(土)、8月10日(日)  
Program:理工学部ガイダンス、学科別ガイダンス、研究室公開、個別相談など

※プログラムは変更になる可能性があります。変更がある場合はHP上でお知らせいたします。

資料の請求およびお問い合わせ先 URL <http://www.chuo-u.ac.jp/>  
入学センター TEL:042-674-2144  
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1



みやもと たろう  
宮本 太郎 先生  
1988年、中央大学法学研究科博士後期課程単位取得退学。  
1990年、立命館大学法学部助教授。1994年、ストックホルム大学客員研究員。1995年、立命館大学政策科学部助教授。  
1998年、スウェーデン国立労働生活研究機構客員研究員。  
2000年、立命館大学政策科学部教授。2002年、北海道大学大学院法学研究科教授。2013年より中央大学法学部教授。